



防災

災害が起きたとき、被害の拡大を防ぎ、地域で復興を進めていくためには、日ごろから、どのように防災に取り組むことが必要でしょうか。

災害時の格差—弱い立場の人がさらに弱い立場へ—

2004 年のスマトラ沖地震をきっかけに、自然災害による被害には明確な男女差があることが国際的に明らかになりました。同じコミュニティに暮らし、同じ災害に遭っても、その困難の質や度合いなどは、人により異なり、女性と男性とでも異なる被災体験をします。日本でも、過去の災害において、避難所についたてを作れない、子どもの夜泣きを嫌がられるため避難所にいられない、性暴力やDV、ケア役割が増えて仕事に出られず失業、などの被害は、女性のほうが多く経験しています。このようなことから、防災や復興過程に男性だけでなく女性の視点を入れる必要性が提起されています*1。

また、災害時には多様性への配慮よりも効率が優先されがちなこともあり、平時に弱い立場にある人たちや少数派の人たちは災害時にはさらに弱い立場に置かれ、声をあげることが難しくなることも報告されています。子どもや高齢者、障がいや病気を抱えている人、性別違和を感じている人、単身者、外国籍の人などがより多くの困難を抱える傾向があります*2。

平時から男女共同参画・多様性に配慮した防災を

特定の被災者により大きな被害を負わせることなく災害時に人々がともに支え合うためには、日ごろからみんなで防災について話し合い、活動しておくことが大切です。まず、人によって困難の感じ方や必要とする支援に違いがあることを認識しましょう。そのような多様性に目を向け、活動できる人が地域の防災活動に増えることで防災の取組が進展します。リーダーとなる一人の人がすべての人の立場を想像するのは難しいことです。ですから、平時から地域の防災会議等に、女性や多様なバックグラウンドを持つ人、当事者でなくともそれらの人の多様なニーズに心を配れる人が加わり、知恵や意見を出し合うことで、多様性に配慮した地域の防災を進めていきたいですね。

* 1…村田晶子編著『復興に女性たちの声を』1-2 頁、竹信三恵子・赤石千衣子編『災害支援に女性の視点を！』11-17 頁 * 2…前掲書 37-38 頁

【役立つ 3 冊をご紹介】 ※すくらむ 21 で読めます & 借りられます。ダウンロード可能なものも。



避難所ってどんなところ？安全安心な避難所の開設・運営の具体的な方法がわかる

『男女共同参画の視点でつくる避難所運営ガイド』発行：川崎市男女共同参画センター、2014 年
地区内の多様な人が安全安心に過ごせる避難所の運営はどのように行えばよいのでしょうか。事前の確認・調整事項、具体的なレイアウト図、被災者受付や救援物資受け入れ訓練の方法等をまとめたマニュアルです。地域の防災計画に関わる人、関わりたい人はもちろん、避難所に興味のあるすべての人におすすめします。川崎市男女共同参画センターHP からダウンロードできます。



東日本大震災での支援経験をもとに、発災直後から復興期まで、段階別に必要な支援をまとめた事例集

『現場に学ぶ、女性と多様なニーズに配慮した災害支援事例集』

発行：東日本大震災女性支援ネットワーク、2012 年

被災者は性のあり方、年齢、障がいや病気の有無、国籍や母語の違い、家族構成や就労状況により、様々な支援を必要としています。東日本大震災の支援活動にあたった様々な団体の経験から得られた支援事例を集めた本冊子は、支援時の注意点やコツが該当する団体等とあわせてまとめられており、支援者にも支援される側にも役立ちます。HP からダウンロードできます。(お問い合わせは、減災と男女共同参画 研修推進センターへ)



東日本大震災の被災シングルマザー14人の聞き取り記録

『増補版 3.11 後を生きる—シングルマザーたちの体験を聞く—』

発行：NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ、2015 年

本冊子は震災で夫を失った人、震災前からシングルだった人、震災後にシングルとなった人など様々な状況のシングルマザーたちへのインタビューを掲載しています。どの境遇であっても、ひとり親で子育てする困難は災害時に著しく増幅し、復興資源へのアクセスも困難であることを伝えています。平時からの厳しい状況がさらに被災者を追い詰めることを周囲が認識する必要があります。

* 絵本の紹介 * 貧乏とは？ 幸せとは？ ～世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ～

色彩豊かな絵が次々と現れ、目も心もすっきり、はっきりしてきます。特に牧場の絵は、真っ白な雲が流れ、真緑の草原が広がり、牛たちはのんびりと草を食べ、時間が止まったような景色が心を捉えます。透明感のある美しい絵と話の内容がぴったりの絵本です。

南米の小さな国ウルグアイの大統領のスピーチを絵本にしたものです。2012年、ブラジルのリオデジャネイロで開かれた「環境が悪くなった地球の未来について」の会議で世界中から集まった各国の代表者が次々と意見を述べた後で、質素な背広にネクタイなしの姿でウルグアイの大統領が話し始めるのです。

今の文明は私たち人間が作ったものですが、もっと便利で、もっと良いものを手に入れようと工夫を重ね、世の中は大変発展しました。しかしその後、ものを沢山作って世界に売る競争が展開される社会になっています。働いて、ものを買って、使い捨てして、ごみの山ができ、自然を壊しています。必要以上にものを手に入れようと働きつめに働いて命を縮め、「生き方が危機に陥っている」状況だということです。ものに欲を持ちすぎではないが、私たちの生き方を考え直す必要があるということです。

・人と人が幸せな関係をつくること・子どもを育てること・友人を持つこと・地球に愛があること
この4点を発展の土台にして人間の暮らし方を考えようということです。

さらに、世界でいちばん貧しい大統領は、古代の賢人たちのことばを紹介しています。「貧乏とは少ししか持っていないことではなく、もっともっとほしがることである」今あるものに目を向けて、「人と人が幸せな関係」にあり、「地球に愛」があれば、それだけでも幸せなのだ気づきます。一人の人間として、社会人として競争に明け暮れるのではなく、ものを求めすぎず、自然と強調しながら生きていくことの大切さを気づかせてくれる絵本です。

編：くさばよしみ
絵：中川学
出版：汐文社



すくらむ 21 12月・1月の新入荷書籍 ※すくらむ 21 で読めます & 借りられます

タイトル	著者	出版社	入荷
「産む」と「働く」の教科書	齊藤英和、白河桃子	講談社	12/25
新気づいて乗りこえる	長谷川七重、グループしおん	メディアアイランド	12/25
ネウボラ フィンランドの出産・子育て支援	高橋睦子	かもがわ出版	12/25
私、産めるのかな？	小林裕美子	河出書房新社	12/25
なぜ、女性は仕事を辞めるのか 5155人の軌跡から読み解く	岩田正美、大沢真知子編著/日本女子大学現代女性キャリア研究所編	青弓社	12/25
北欧女子オーサが見つけた日本の不思議	オーサ・イエークストロム	KADOKAWA/メディアファクトリー	1/26
貴様いつまで女子でいるつもりだ問題	ジェーン・スー	幻冬舎	1/26
離婚後の共同養育と面会交流 実践ガイド 子どもの育ちを支えるために	J・Aロス	北大路書房	1/26
若者の貧困・居場所・セカンドチャンス	青砥 恭、さいたまユースサポート ネット編	太郎次郎社エディタス	1/26
an・an SPECIAL 新装版 女性のための防災 BOOK	マガジンハウスムック	マガジンハウス	1/26

[発行・編集・図書の間い合わせ先]

川崎市男女共同参画センター (愛称:すくらむ 21)

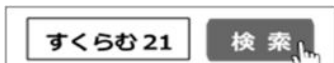
※JR 南武線「武蔵溝ノ口駅」徒歩 10 分

※東急田園都市線・大井町線「溝の口駅」徒歩 10 分

〒213-0001 川崎市高津区溝口 2-20-1

電話 : 044-813-0808

FAX : 044-813-0864



携帯はこちらから

